

AMDAに3090万円

ボランティア貯金 今年度の配分

郵政省の寄付金制度「国際ボランティア貯金」の平成四年度の配分先に、県内からアジア各国で医療、衛生面の援助活動を進めているアジア医師連絡協議会（岡山市榴津、菅波茂代表、AMDA）が選ばれ、三千九十万円が贈られることが決定。同市桑田町のメルパルクオカヤマで四日、通知式が行われた。

AMDAには昨年度も約七百万円が贈られ、医師、薬、医療設備が慢性的に不足しているネパールで日本人医師が行う巡回診療、診

療所の開設などに使われた。今回の寄付金もネパールでの事業に使われるほか、新たにカンボジア、バン格拉デシュで、難民の診療や薬、医療機材購入に使った。通知式では、岡山、玉野市、御津町の全郵便局でつくる備前西連絡会の霜山司会長がAMDA事務次長の津曲兼司医師に通知書を贈呈した。津曲医師は「去年の実績が認められ、今年も選ばれてうれしい。寄付して下さったみなさんの気持ちを形にして現地に伝えま

す」と話していた。

平成4年 郵政事業表彰式

備前西連絡会

